

2020年2月吉日

日本作業療法教育学会 会員の皆様

日本作業療法教育学会

大会長 小林 幸治

第24回日本作業療法教育学会 延期日程での開催のご案内

【日程】

会期：2020年3月14日（土）・15日（日） ※2019年10月開催が台風のため延期されました

会場：日本リハビリテーション専門学校 タイムプラザイセ（イセビル）2F

〒171-0033 東京都豊島区高田 3-18-2 ※本校舎とは別の建物です

JR 高田馬場駅早稲田口より徒歩7分

東京メトロ東西線高田馬場駅7番出口より徒歩5分

東京メトロ副都心線西早稲田駅2番出口より徒歩13分

【大会長】

小林 幸治（目白大学保健医療学部作業療法学科）

【テーマ】

リフレクション～作業療法教育の中でどう学習者の内省を育てるか～

【開催趣旨】

第24回となる、今回の日本作業療法教育学会のテーマは「リフレクション～作業療法教育の中でどう学習者の内省を育てるか～」としました。リフレクションという言葉は、まだ作業療法士などの専門職養成教育では十分に使われていません。「反映する」「反射する」「熟考する」「省察する」といった訳があります。

これは、教師教育学という学校教師の教育についての学問や、従来のパターンリズムな専門家への批判から、「反省的実践家」と言われる現場の不確実性に対応できる専門家についての実践知の追求の中で検討されてきました。

さて、今や時代は、昨年の臨床実習等の指定規則改正により、診療参加型実習の実施が提示され、作業療法教育は大きな舵きを要求されています。医学教育で進められてきた診療参加型実習は、「単なる知識・技能の習得や診療の経験だけでなく、実際の対象者に対する診療業務を通じて、医療現場に立った時に必要とされる診断及び治療等に関する思考・対応力等を養う」とされます。この診療参加型実習を私たちの作業療法教育の中で発展させていくには、リフレクションを重視した現場教育・経験学習が重要になります。このテーマにある「学習者」とは、学生だけでなく教員、実習指導者も含まれます。

参加者の皆様とともに、より実体のある教育活動を考える機会になることを願っています。

【延期日程での開催案内・プログラム】

2020年3月14日（土）

- 12:00 受付開始
- 13:00～13:10 開会式
- 13:10～13:25 大会長講演 「リフレクションを生かす作業療法教育」
大会長 小林幸治 先生
- 13:35～14:30 ミニワールドカフェ 吉備国際大学 藪脇健司 先生
- 14:40～17:00 教育講演 「これからの作業療法教育が目指すもの」
教育講演1 「これからの作業療法士の養成・育成教育で目指すもの」
日本作業療法士協会会長 中村春基 先生
教育講演2 「これからの養成教育・臨床教育の具体的課題」
藤田医科大学 鈴木孝治 先生
- 17:10～17:50 口述発表（一般演題・テーマ演題）
- 18:30～20:30 レセプション

2020年3月15日（日）

- 9:00 受付開始
- 9:30～11:00 特別講演 「省察的実践の学び方・学ばせ方」
東北福祉大学 上條晴夫 先生
- 11:10～12:30 フラッシュトーク&ポスター発表
- 13:20～14:10 総会
- 14:20～16:25 シンポジウム 「内省を考える～学習者にいかに内省を促すか～」
昭和大学 鈴木久義 先生
東京都保健医療公社豊島病院 中澤史江 先生
蓮田よつば病院 石川英樹 先生
- 16:25～16:40 閉会式・次回開催案内